

山口県埋蔵文化財センター巡回速報展

# 歴史のあしあと 2010

2010年

8月2日(月)ー8月31日(火)

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 日曜日、水曜日(8/18、25)、夏季閉校日(8/13、14)

梅光学院大学博物館

〔主催〕  
山口県埋蔵文化財センター  
梅光学院大学博物館

## 〔展示遺跡〕

長谷遺跡(山口市)

東禅寺・黒山遺跡(山口市)

上り熊遺跡(防府市)

朝田墳墓群(山口市)

三見ほうろく窯跡・ほうろく茶屋跡(萩市)



## ◎ミュージアムトーク

8月12日(木) 11:10~、8月28日(土) 15:30~

## ◎特別講演会 8月27日(金) 13:00~

梅光学院大学図書館ホール

講師:山口県埋蔵文化財センター文化財専門員 谷口哲一氏

観覧  
無料

この展覧会は、山口県埋蔵文化財センターが平成20年度の発掘成果を巡回速報展「発掘された山口」（県内6会場）として開催するもので、その展示内容をもとに、当館ならびに梅光学院大学博物館学課程実習生19名の協力を得て、展示の再構成・設営を行ったものです。

#### ながたに いせき 長谷遺跡（山口市）

山口市小郡地区の北西部、禅定寺山麓付近の河岸段丘上に営まれた古代から中世にかけての集落遺跡です。旧石器時代のナイフ形石器、縄文時代の石鏃や石斧、縄文土器、中世の土師器や瓦質土器が出土しました。小郡地区では、これまで考古学的調査が十分に行われてなく、今回の出土品は、地域の歴史を考える上で貴重な資料になります。

#### とうぜんじ くろやまいせき 東禅寺・黒山遺跡（山口市）

東禅寺・黒山遺跡は、古代から中世にかけての集落遺跡です。過去の調査でも平安時代から中世にかけての建物跡や土器類が多数発見されました。近辺には古代の官営鑄銭施設である周防鑄銭司跡をはじめとして、中世・近世の遺跡が点在しています。今回の展示では、新たに発見された資料や、東禅寺・黒山遺跡に深く関わる「周防鑄銭司」の解説を行います。

#### あが くまいせき 上り熊遺跡（防府市）

防府市台道の台地に営まれた室町時代を中心とした集落遺跡です。平成19年度に引き続いての発掘調査によって、多数の掘立柱建物跡や土地区画のための溝の跡、井戸、烏帽子が副葬された墓、皿や足鍋、播鉢などが捨てられた大きい穴などが見つかりました。石鏃や石斧等の古い時代の遺物も出土しており、長期にわたるこの台地での人々の生活の痕跡をとどめています。

#### あさたぶんぼく 朝田墳墓群（山口市）

朝田墳墓群は、山口市朝田の丘陵に営まれた弥生時代から古墳時代にかけての大規模な墳墓群です。この度の調査では、古墳時代の集落跡がはじめて検出され、合計14軒の竪穴住居が確認されました。竪穴住居の中には炊飯の場所であるかまどを持つものもあります。また、弥生時代の貯蔵穴、古墳時代の石棺墓や横穴墓も見つかりました。

#### さんみ かまあと ちゃやあと 三見ほうろく窯跡・ほうろく茶屋跡（萩市）

萩市三見中山の赤間関街道沿いに、江戸時代後期の茶屋跡と、ほうろくなどの土師器を焼成したほうろく窯が隣接して発見されました。また赤間関街道の道路部分も調査され、当時の街道は幅約2m（約1間）で両側に側溝があることがわかりました。これらの発見は、江戸時代の交通や窯業を知る上で新たな資料となりました。

#### 特別講演会

8月27日（金）13時～ 梅光学院大学図書館ホール

講師：山口県埋蔵文化財センター文化財専門員 谷口哲一氏  
「三見ほうろく窯跡・茶屋跡」の発掘担当者によるとおきのお話です。

#### ミュージアムトーク

8月12日（木）11時10分～ 梅光学院大学博物館

8月28日（土）15時30分～ 同上

博物館学課程実習生による遺跡の説明です。

開催期間

2010年

8月2日（月）～8月31日（火）

開館時間

9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日

日曜日、水曜日（8/18、25）、  
夏季閉校日（8/13、14）

観覧  
無料

【お問い合わせ】

梅光学院大学博物館

〒750-8511 山口県下関市向洋町1-1-1

TEL 083-227-1070 FAX 083-227-1071

<http://www.baiko.ac.jp/university/facilities/museum.html>

e-mail : [museum@baiko.ac.jp](mailto:museum@baiko.ac.jp)

